

りす俱樂部

2016年・2017年

11・12・1月
新年特別号
第247号



雪の越年

除夜の鐘さえ届かない新潟県境豪雪地帯。秘境の名は、消えて久しいが、人の訪れは春まで絶える。静寂と背中合わせの孤独の影に、雪が舞い込み降り積もり、年が往き年が来る。

弁護士 福井大海

お健やかに新年をお迎えのことと
お喜び申し上げます。

NPOりすシステム代表理事 杉山 歩

昨年夏、多くの皆さまとの協力をいただき『戦後70年 私達の遺言』を出版することができました。実際に戦争を体験された方、戦争によつてつらい思いをされた方がほとんど少なくなくて行く中で、二度と戦争という悲劇を引き起こしてはならないということを、何とか次の世代に伝えたいという一心で製作に取り組みしました結果、380名余の方から原稿を頂戴し、841ページにわたる大作が完成しました。

りすシステムと契約されている皆さまが同様の不安を感じ、問い合わせが殺到するかもしれない、と覚悟したのですが、ごく少数しかありませんでした。

また、若い世代に読んでほしいという思いで、母校などへのご紹介をお願いするハガキを綴じ込みましたところ、多数のハガキが編集部に届きました。皆さまのご協力に改めて深く感謝申し上げます。

今年の課題は、安否確認システムの拡充です。昨年、続けて何件か孤独死という状況で発見された方がいらつしやいました。

世界中がいつまでも平和であり続けられるように、小さな運動ですが続けていこうと思っております。

ご本人だという確認がなかなかできないったり、不動産の価値が下がるなどのリスクも多く、またせっかく企画書で依頼されたことが実行できないなどということも起こりました。

生前契約というシステムは、りすシステムが作りあげて23年間活動してきた中で、ずいぶん社会に浸透してきたように思います。同じようなしくみで事業を行う個人や団体も誕生しましたが、ライフ協会という公益財団が3月に倒産したこと、社会全体に不安が拡がりました。

皆さんに異変が起こったことを、速やかに、しかも自動で、りすシステムに伝えていただくためのセコムの緊急通報サービス、必要な方すべてに導入していただくことを目標に、制度の充実を図っていかうと考えています。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

新しい年はどんな年になるのか？

― 難題山積、日本沈没を杞憂する ―

皆様、どのような新年をお迎えでしょうか。

平和ボケなどという言い方で、平和主義を侮蔑する風潮がありますが、そう言っている人々こそ、平和ボケしているのではないのでしょうか。

ここで言う「平和ボケ」とは、国防にもつと力を入れよ！という意味に聞こえます。軍備を強化し富国強兵を国是として、国や国民が護れるというのなら、世界一の軍事力を有するアメリカで、9・11の悲劇は起こらなかったのではないのでしょうか。

こんな視点から年の始めにあたって、気が向くままに様々なことを考えてみます。



1. 軍事力で国は護れない

我が国は、世界に冠たる軍事大国であることを押えておきましょう。世界ランキングについては色々な指標があるので正確ではありませんが、お金では、4～6番目くらいです。

▲戦争をしない憲法を持つ我が国が、世界に200ほどもある国の中でベスト10入りしていることが、そもそも不思議です。日本の軍事予算は平成14年の4兆9557億円をピークに、民主党政権時代の4兆6653億円まで減少しましたが、安倍政権になり、じりじりと増加し、史上最高の5兆1000億円になろうとしています。

▲日本は島国ですから、陸つづきのヨーロッパなどのように、川一つ、山一つ越えれば他国という条件とは異なり、国土防衛上、海を渡って攻めて来る可能性は極めて少ないです。

NPO りすシステム

相談役

松島如戒

いと考えるのが常識でしょう。他方、国土の広さの割には長い長い海岸線や、数多くの島々を護るのは容易ではありません。

▲朝日新聞社OBで、軍事評論家の田岡俊次氏によれば、軍事力で国を護ることより外交力を高めて、紛争にならない道を選ぶべきだと述べていますが、私は大賛成です。以前、本誌に書きましたが、日本が仮想敵国と想定している中国、北朝鮮、ロシアなどが、本気で日本に攻めて来ると思っています。中国が、本気で尖閣諸島を占領しようと考えているでしょうか。日米軍事同盟があり、日中間の経済を考えた時、無人島一つのために大きな犠牲を払うと考えることこそ、荒唐無稽な発想でしょう。

竹島については、日韓は日米軍事同盟を通じて同盟国でしょう。

▲そもそも1972年の国交回復に関する日中共同声明、それを受けて締結された1978年の日中平和友好条約で、領土の

相互尊重、相互不可侵、相互内政不干渉が謳われており、交渉過程で尖閣問題は棚上げとされていたものを、そんな事実はないなどと言辞を弄し、日中双方で事実あることに緊張状態を作り出すのは悲しいことです。

2. 日中、北朝鮮問題を

どう考えるか



▲日本には1億2700万人、中国には13億7300万人の民がいます。外交は国内向けのパフォーマンスでもあることを、為政者は念頭に置くことが必要でしょう。トップ同士のホットラインを有効に機能させることが重要です。キューバ危機でも、一歩間違えば核戦争でしたが、米ソのホットラインで世界は救われました。安倍さんには、これ等のことを教訓にして欲しいと思います。

▲北朝鮮問題も危機であることに間違いはないでしょうが、現実問題として、北朝鮮が本気で日本にミサイルを撃ち込んで来る可能性は、あまりないと思います。攻撃するとすれば、米軍基地の方が確率が高いのではないのでしょうか。北朝鮮との間には、拉致問題が立ちはだかっていますが、当時の小泉内閣の取組みにより、北朝鮮の国のトップが拉致の事実を認め、謝罪した事実は大

きな成果でした。

何はともあれ北朝鮮は、5人を一時帰国させたつもりが永久帰国となりましたが、それでも国交回復へ向けて進んでいました。その友好ムードに水を差したのは日本側で、卓袱台^{ちやくふだい}をひっくり返したのは当時の官房副長官だといわれています。真偽のほどは分かりませんが。

先の戦争が終って早や70年を超え、拉致問題が発生してから30〜40年を経ている今日、何はともあれ国交を回復し、日朝間を自由往来出来れば「戻す戻さない」の話ではなくなるのではないのでしょうか。こちらは「返せ」「戻せ」の一点張りですが、もしかしたら、拉致被害者の中には彼の国で重宝され、今の暮らしに満足している人もいるかも知れません。

▲他方、この話はそもそも彼の国が利得を得んとして行った宮利誘拐ですから、拉致された人が国家機密を知り得る立場に出世し、戻したくても戻せない人も当然いるでしょう。

安倍さん、拉致問題はどうしたんですか。「俺なら拉致問題を解決出来る」と大見得を切ったのは、どこの誰でしたっけ。バカの一つ覚えの如く「経済制裁をより強く」との呪文を唱えている間に、北朝鮮は核兵器開発にほぼ成功したといわれるまでに、

力をつけたではありませんか。核を持ったら、世界国家の中のVIP。インド、パキスタンも核実験に成功した当時は国際世論の非難にさらされましたが、今や立派な核保有国です。金主席はフセイン大統領の末路を見て、事の善悪はともかく、今の時代、核を持つ者が成功者で、持たねば抹殺されると確信したのでしょう。

我が国だって、米国の核の傘の下という立派な核保有国。俺は核を持っているが、お前が核を持つのはケシカランとスゴミを効かせても、相手に対する説得力がありません。

▲私が習近平さんでも、北朝鮮が本格的な核を持つて裏切られるのは困るけれど、北朝鮮が韓国と統一されて、中韓国境近くに米軍基地を置かれるのは、絶対に阻止せねばならないと考えます。加えて、北朝鮮の民がとことん困って、中国に雪崩をなして入国されるのも困る。だったら、国際間の「お付き合い」はするけれど、これ以上の制裁はしないでしよう。北朝鮮問題は「北の勝ち」で、第一ラウンドのゴングが鳴るのではないかと思います。



3. トランプ大統領誕生



どんな選挙でも、選挙中の言辞と、いざ勝つてその任に当たる時とでは大いに変わる、否変わらざるを得ないと思います。いろんなテーマがあるでしょうが、私はTPPの不成立と、米軍基地の費用を全額払え、さもなくば撤兵するというのは、上等じゃねえか！と思っています。

我が国には米軍基地が130数ヶ所もあり、核を搭載しているであろう原子力潜水艦が領海内にいることは、ある種の抑止力となっている事実は否定しません。しかし逆も真で、米軍基地が我が国の安全保障上のリスク要因になっている事実も、否定出来ないと思います。

北朝鮮の核が狙うのは米軍基地と考える方が論理的合理性があります。安倍さんが、おっとり刀でトランプさんに臣下の礼を尽くしに行くとは、全くの頓珍漢な外交センスです。

私が日本国のリーダーなら、中国、北朝鮮などに密使を送ります。そして相互不可侵条約締結交渉を秘密裡に行います。米軍基地がなくなれば俺は丸腰だ、したがって君の国のほうがはるかに強力なのだから、弱い者いじめは世界の一等国には似合わない……と口説くのです。

4. TPPは日本人を飢え死にさせる

外交も国際問題も、素人の私が危惧するTPPの恐ろしさは二つあり、日本の農業農村が破壊される危機と、ISDS条項による国家破滅の危機です。

▲「もうかる農業」ということばが勢いづいていますが、本来農業は「もうからない部門」です。構造的に、もうからない部門からもうけを出そうとすれば、ひずみが出ます。どんなひずみか。それは、農業の一義的使命は国民に安全且つ安定的な食を提供することにありますが「もうける」という論理が優先すると、食の安全も環境も、特に国土保全という使命は犠牲にされます。

▲現在、我が国の食糧自給率は39%（平成27年度）。手に入る統計で最も古い昭和40年が73%、50年54%、60年53%、10年後の平成7年が43%。10年間で10%低下し、その後20年間は40%前後で推移しています。

この39%という自給率はカロリーベースですから、極端なことを言えば、外国からの輸入が全て途絶えたら、日本人の60%は餓死することです。この場合、国内生産で賄えるのは1人当り954 Kcal。現在供給されているカロリーは2417 Kcal

で計算しています。

こんな話をする、現在アメリカやカナダ、オーストラリアなど、日本に食糧を買え買えと言っているじゃないか、それもあるって日米同盟は強化されているんじゃないか、と反論される方は多いと思います。

▲世界各国のカロリーベースの食糧自給率はカナダ258%、オーストラリア205%、フランス129%、アメリカ127%、ドイツ92%、イギリス72%、イタリア61%、スイス57%、日本39%。環境省の作成した統計には、発展途上国の統計はありませんが、こうしている今も、世界では1日に4万人が餓死し、世界人口73億人の9人に1人は飢餓に苦しんでいるという統計があります。

現在、アメリカなど食糧生産国は、日本に小麦を買え、牛肉を買え、買わなければ日本産の工業製品は買わないぞ！と、押し売りまがいの関係ですが、この状態がいつまでも続くと考えるのは大間違いです。世界的に食糧不足時代になれば、日本には売らない、どうしても欲しいと言うのなら、相場の10倍なら売ってもいい、というような状況になる。それが資本主義経済の基本でしょう。

▲ I S D S 条項 (Investor-State Dispute Settlement)

を簡単に説明すると、例えば米国の企業が日本に物を売りたいのだが、日本は食の安全基準が厳しいので思うような商売が出来ないといった場合、この企業の商売を邪魔する法律を変えて、米国企業が楽に商売し、大もうけするというもの。

この言い分で、米国等が大きな影響力を持つことになれば、仲裁機関で裁定が出ると、例えば日本は食の安全基準の引下げ、あるいは微塵にする法改正を行うことが義務付けられます。

差し当って問題となるのは、遺伝子組換えの大豆や小麦などです。それを拒むと日本国政府は、儲けを得た分の莫大な賠償金を支払うことになるという、何とも情けない取決めが、私がTPPで最も危惧している点です。

もちろんその逆もありで、発展途上国などに日本が物やサービスを売る際、その国の法律が商売の邪魔になれば、同じことが出来ます。



5. 2020年オリンピックは

返上したらどうか



東京オリンピック開催、私は反対です。誰のため、何のためのオリンピックでしょうか。反対の理由は大きく二つです。

一つは、首都直下型地震などの災害により、現実問題としてオリンピックが開催できるのか否か、不透明じゃないですか。外国から代表選手や大会役員等関係者の他、観客として多数の外国人が日本を訪れることを期待してのオリンピックでしょうか、それら外国人に対する災害対策は出来ているのでしょうか。そもそもその種の議論がなされているという報道は、ほとんど見当たりません。

もう一つはお金の問題です。3兆円もかかるそうです。当初は数千億円という話でしたが、いつの間にか3兆円。このまま天井知らずとなることを憂えています。

それから、警備費が1.6兆円とか。平和の祭典であるはずのオリンピックを開催するのに、これだけの大金を投じなければ安全が担保されないというのなら、そんな物騒な東京にオリンピック開催の資格なし、といって良いのではないのでしょうか。

私の記憶違いかも知れませんが、ロンドンオリンピックの頃から「コンパクト」つ

まり、既存施設を活用して新たな施設は作らない、こじんまりとしたオリンピックにしようということだった気がします。

国立競技場の建て替え工事でも大騒ぎして、その結果どうなったか分かりませんが、ボートだ、カヌーだ、バレーだと大金を投じる施設建設に関し、小池東京都知事が見直しを提案。これも大騒動でしたが結局元の本阿弥。キャンセルしたら100億円の賠償金が必要だ？ふざけるな！じゃないですか。着工もしていない工事のキャンセル料が100億円なんて考えられますか。この国は一事が万事で、全てのことがこのような訳の分からない手法で、税金が浪費されているのではないかと思います。その結果、国の借金は1060兆円。天文学的な数字です。

6. 元テレ朝コメンテーター

三反園鹿児島県知事、しっかりしてよ

鹿児島県の川内原発を再稼働させないを公約に、先頃の知事選で現職を制し、知事の座を射止めた三反園さん。しかし、なすすべもなく原発は再稼働しました。

7月の参院選で、完膚なきまでに野党が敗れた状況で、鹿児島県での三反園知事誕生は一つの救いでしたのに、本当に残念無念です。

政府は、福島原発事故処理費用が21・5兆円かかるので、電気料金に上乗せする方針と報道されました。つい最近まで10兆円と試算されていたのが、いつの間にか21・5兆円。

2011年当時、九州大学の先生が、いったん原発事故が起きたら、その後の処理費用は100兆円くらい要することを考えると、原発は決して安価なエネルギーではないと発言され、その内容を、りす俱樂部第202号（2012年2月発行）に書きました。原発が安いというのはサギ話です。

三反園さん、サギの片棒をかついではなりません。生命を守ってくれるはずと期待して、あなたに投票した県民を裏切ってはなりません。ジャーナリストのはしくれとの自覚があれば、身の処し方は自ずと見えるハズ。

三反園知事、ガンバレ。

7. 世界の人口と食糧危機



▲2050年頃には、世界の人口は90億人を超えると予測されています。一番増えるのはインドで3億9千400万人増え、人口世界一の17億500万人。次がナイジェリアで、2億1千700万人増え3億9千900万人、3番目はパキスタンで1億2千万人増え3億1千万人。

2016年現在、人口世界一の中国は、2050年には280万人減り、世界第2位となると予測されています。

人口が減少する国が多い先進国の中で、米国は6千700万人増えて3億8900万人、世界第4位にランクされています。日本は3千万人減って9千700万人となり、世界人口18番目の国となる予測です。

その他の人口増加国は、4位コンゴ1億1千800万人、5位エチオピア8千900万人、6位タンザニア8千300万人、7位は米国、8位インドネシア6千400万人、9位ウガンダ6千200万人、そして10位はエジプトで5千900万人。この10ヶ国で2050年までに23億8千万人増加するといわれ、世界人口の50%を占めることになります。米国を除けば全て発展途上国で、その他の人口増加国の多くも発展途上国です。

さらに、これらの国が発展を遂げることで、食生活の構造も変化しますので、世界中で爆発的な食糧不足、即ち飢餓による餓死者が出現します。その際、食糧自給率39%の我が国はどうなるのか。飢餓国となるのは論を俟たないと思います。

▲飢餓から人の生命を守る手立ては、自らが食糧を生み出すことです。食糧を生み出す源泉である農地は、減少しつつあります。

2016年現在、我が国の農地は田244万ヘクタール、畑205万ヘクタール、計449万ヘクタールですが、ピークは1960年の607万ヘクタールで、約半世紀で4分の1減少しました。TPP批准と関連法が今日（2016年12月9日）成立したとニュースで伝えていますが、我が国が地獄へのスタートを切ったことにならないことを祈っています。

「もうかる農業」を善とすれば「もうからない農業」は悪で、切り捨てられます。この切り捨てが30・40年後、日本人から食を奪い、飢餓への道を歩むことになるのです。

▲戦中戦後の飢餓時代を知る私たち世代は、この日本という国で生き続けなければなりませんし、若い世代には、飢えのつらさを伝え続けねばなりません。

私の2人の子どもが小、中学生の頃、毎年8月15日はひもじさを体験する日として、米粒を探さなければ見つからないような野菜汁を大ナベに作り、これを3食食べさせました。娘の杉山歩がその頃のことを「戦後70年、私の遺言」に書いていますが、50歳になった今でも、実体験として持っていることを嬉しく思いました。

▲私の植物の先生で、東京都薬用植物園々長を長年お勤めになった、田中孝治先生から教わって、肝に銘じていることがあります。「毒があつて食べられない植物をおぼえなさい」ということです。毒草でなければ全て食べられる。しかし美味しいものも、栄養価の高いもの、薬効のあるものなどは、その都度調べれば良いのです。飢餓社会が到来すると、とにかくにもお腹に何か入れなければ、苦痛から逃れられません。そのために、毒草を知ることから始めましょう。

▲もう少し前向きに考えると、日本の農地はピーク時に比し、160万ヘクタール毀損しています。TPPにより毀損農地の拡大が予測されます。経営効率、もうかるか、もうからないかという尺度を離れば、我が国の農耕可能な土地の600万ヘクタールのうち、3分の1の200万ヘクタールは毀損又は遊休農地になるでしょうから、将来、日本人が飢えをしのぐ対策として200万ヘクタールの農地化に、官民あげて取り組む必要があります。

8. やっばりオスプレイの墜落事故

▲いい加減にしろ！だ。機体が大破して落下し、海水面に激突すれば「墜落」が日本

語でしょう。沖縄県は墜落と言い、米軍とその尻馬に乗った稲田防衛大臣は、コントロールを失った状態ではなく、自発的に着水したので墜落ではないと説明したといいます。自発的に着水したのに機体が大破するでしょうか。止むを得ず落下したのなら、墜落でしょう。稲田大臣は米軍の広報担当者かと疑うのは、私だけではないでしょう。

▲沖縄県副知事が、在沖縄米軍トップのローレンス・ニコルソン沖縄地域調整官に抗議した際「パイロットは住宅や住民に被害を与えなかった。感謝されるべきだ」と述べ、副知事の抗議に不満を示したと、2016年12月15日付毎日新聞はベタ記事で伝えました。

▲オスプレイは沖縄だけの問題ではありません。日本列島への配備状況は図の通りで、今日現在、配備済みの沖縄普天間飛行場に24機。そのうちの2機が墜落大破したということです。私の自宅は千葉県富津市の山の中で、木更津駐屯地は隣町です。2017年1月には、自衛隊による機体整備が始まるということで、整備してちよつと飛んでみようかと駐屯地から南下すると、我が家です。これから戦々恐々の日々が続くことになりそうです。

場所	被害
2000年 4月 8日 米アリゾナ州	開発試験中に墜落し19人死亡
10年 4月 8日 アフガニスタン	墜落し4人死亡
12年 4月11日 モロッコ	墜落し2人死亡、2人重傷
6月13日 米フロリダ州	墜落し5人負傷
15年 5月17日 米ハワイ州	着陸に失敗し2人死亡
16年12月13日 沖縄県沖	不時着し2人負傷

2016年12月15日付 東京新聞



オスプレイというのは、戦略上は優秀な航空機かも知れませんが、事故の多い機体でもあります。主な事故状況の資料を、2016年12月15日付東京新聞より揚げておきます。



2016年12月15日付 東京新聞

9. 公明党よ、目を覚まして下さい

「都議公明党、自民党と決別」。2016年12月15日の朝刊で、各紙似たような見出しで報じています。都議会だけでなく、国政レベルでの自公連立の見直しへと発展することを切に願っています。

平和の党の看板を、これ以上穢さないで下さい。特にこの数年間、平和や憲法の問題でも原理原則に立ち戻って、自民党と一線を画してくれるのかな…と何度となく期待し、その都度裏切られ、ついに南スーダンでの駆け付け警護という名の出兵まで行われました。

ここらが限界じゃないですか。将来への禍根を残さぬよう、勇気を持って平和への道をさぐりましょう。公明党の皆さまへ、お願いします。

10. バクチ合法化法を

数の暴力で成立させた安倍政権

▲安倍内閣はどうして強引に、2度も国会を延長してまで、バクチ解禁法を成立させたのでしょうか。諸説ありますが、公明党よさようなら、大阪維新よウェルカム、主義主張が同じ者同志で、これから憲法改正、軍事力増強路線とともに歩みましょうという、血判同盟のスタートの儀式ではないか

と、私は見えています。

公明党さん、何ごとも先手必勝ですぞ。都議会公明党を見習って、捨てられる前に三下り半を自民党に突きつける勇気を持って下さい。自民党は都議選でボロ負け、衆議院でやけっぱち解散となれば、四の五の言わずに全ての野党が連繋した後は、公明党は政権与党になれますよ。

公明党は、バクチ解禁法案を自主投票せざるを得なかったことは、良き兆しだと思います。それでこそ国民生活を護り、平和を護るという結党の理念を死守することが可能になります。

▲知人でパチンコを生業としている人から聞いた話です。夕方のパチンコ店で、ごく普通の身なりをした中年のご婦人から「お兄さん、3000円でいいからホテルに行って下さい」と声をかけられることがあるそうです。それって何？と思いますよね。パチンコにのめり込んですってんてんになり、夕食の買い物が出来ない、そんな人が珍しくないのです。ギャンブルの恐ろしさを、まざまざと感じさせる話ではありませんか。

「カジノを成長戦略に」。こんなヨタ話を政治家や一部の経済人が考え議論する社会は、既に病膏肓こうきやうに入れりの感があります。

▲商売上手で、大統領のイスまで手中に収めたトランプ氏が、1990年に開業した「トランプ・タージマハル」でさえ経営難で、2016年10月に業務を停止したといえます。(2016年12月13日東京新聞より)

カジノ先進地で既に経営破綻状況が生じているのに、ノウハウも十分持っていない日本に、カジノ目当てに外国から観光客が押し寄せるとは考えられません。今国会のあまりの乱暴さを見るにつけ、安倍内閣の終焉の日もそう遠くない気がします。

▲いつか来た戦争への道を突き進むのか、思いとどまるのか。2017年はその岐路の年になると思います。

キーマンは公明党です。そして民進党の変革です。原発に依存しようとする電力会社等労働組合との決別です。

公民が①脱原発 ②戦争の出来ない国是の厳守 ③辛抱 の三つを掲げて選挙を戦えば、安倍内閣など一発で吹っ飛びます。公明党にエールを送り、民進党の決断を期待します。

本年が良い年でありますように。



セコム・ホームセキュリティのご案内

日頃から健康や防犯に気を付けていても、突然何が起こるかわかりません。

りすシステムが推奨する「セコム・ホームセキュリティ」は
24時間365日休みなくあなたの「もしもの時」に対応します。

救急通報・センサーによるライフ監視・防犯・火災・非常通報等に対応し
電話の応答がない場合はセコムの緊急対応員がただちに駆けつけます。
異常があった場合には119番と同時にりすシステムに連絡が入ります。
いのちと暮らしを守るため、ぜひ「セコム・ホームセキュリティ」
の設置をお勧めします。



【日時】1月15日(日) 12:30～13:00

16:00～16:30

1月17日(火) 15:00～15:30

2月15日(水) 12:30～13:00

16:00～16:30

2月21日(火) 15:00～15:30

【会場】NPOりすシステム 北の丸ガラスゲート1F

東京都千代田区九段北1-4-5

【最寄駅】東京メトロ半蔵門線・東西線・都営新宿線
「九段下」駅(3・5・7番出口)徒歩5分

【日時】1月12日(木) 10:00～11:00

2月12日(日) 10:00～11:00

【会場】りすセンター新木場(東京都江東区新木場4-6-13)

【最寄駅】東京メトロ有楽町線・JR京葉線・高速りんかい線
「新木場」駅よりバス8分

※新木場駅から送迎の用意があります

※参加希望の方はご連絡ください

セコム説明会のご案内

【日時】3月23日(木) 14:15～15:00頃

【会場】西日本支部

大阪市北区東天満1-10-14 MF南森町2ビル4F

【最寄駅】地下鉄谷町線/堺筋線「南森町」駅徒歩3分

JR東西線「大阪天満」駅徒歩1分

*談話サロン終了後、セコム担当者がモデム機器
を持参し、操作方法、契約時や月々の費用、
工事について等の説明をいたします。
お気軽にご参加下さい。

説明会参加お申込みは下記までご連絡ください

りすシステム ☎0120-889-443

東京

大阪



私たちが
担当します!

坂本 はるか
(さかもとはるか)
アシスタント

■出身地:
島根県隠岐の島
■趣味:カラオケ
ピアノ、旅行
■性格:明るい



土屋 美幸 (つちやみゆき)

■出身地:埼玉県朝霞市
■趣味:季節の植物めぐり
■ヨガ、森林浴
■性格:マイペース
素直



急病の時などは、ペンダ
ント型の「マイドクター」
を握るだけで、救急信号
がセコムに伝わります。



室内の人の動きをセンサーで確
認。一定時間動きが確認できな
ければ、異常事態が発生したと判断
し、セコムが対応します。



耳より
情報!

セコム・メディカルクラブ

セコムでは契約された方への生活安心サー
ビスとして「セコム・メディカルクラブ」
を設けています。24時間365日豊富な経験
を持つ看護師が対応する電話健康相談サー
ビスや、医療機関情報の検索サービスなど、
健康に役立つ情報を契約者の方々に提供し
ています。わざわざ病院に行くほどではな
いけれど、健康上のちょっとした不安があ
るときなどこのサービスをご利用ください!

ご自宅でお困りごとやご不安はございませんか?セコム・ホーム
セキュリティで皆様の安心・安全な暮らしのサポートをいたしま
す。使い方はとっても簡単!お気軽にご相談ください。

《お知らせ》

どの支部の行事でも参加できます。
事前に連絡の上、ご参加ください。

東日本支部

相談会

暮らしのよろず相談会

- ▽日時…1月20日(金) 10時～16時
- ▽日時…2月20日(月) 10時～16時
- ▽会場…北の丸ガラスゲート1階
- ▽担当…
- 森 妙子(消費生活アドバイザー)
- 生前契約スーパーバイザー)
- 松島如戒(不動産コンサルタント)
- 杉山 歩(NPOりすシステム代表理事)
- 末藤康宏(りすネット不動産事業部)
- 宅地建物取引士
- 福祉住環境コーディネーター)



東日本支部

見学会

りすセンター・新木場 見学会

- ▽日時…1月12日(木) 13時30分～
- 2月12日(日) 13時30分～
- ▽会場…りすセンター・新木場
- ▽締切…前日までに申込みください
- ※新木場駅から送迎の用意があります
- ※Ai(死亡時画像診断) 装置の見学もできます

西日本支部

談話サロン

- ▽日時…1月23日(月) 12時～14時
- ※2月23日は新年会です
- ▽会場…西日本支部事務所
- ▽参加費…500円(軽食をご用意)
- ▽締切…2日前までに申込み下さい

西日本支部

法律相談

- ▽日時…1月18日(水) 13時～15時
- ▽日時…2月15日(水) 13時～15時
- ▽会場…西日本支部事務所
- ▽締切…一週間前までに申込みください

新年会

全会場に杉山代表が
参加します

北海道支部

新年会

美味しい天ぷらを食べながら新しい年を祝いましょう

- ▽日時…1月26日(木) 12時00分～
- ▽会場…大丸札幌店・8階 つな八
- ▽会費…3000円
- ▽締切…1月23日(月)

東日本支部

新年会

本年は、中華街大通りの聘珍樓で開催します

- ▽日時…2月5日(日) 11時30分～
- ▽会場…聘珍樓 横濱本店
- ▽参加費…3500円
- ▽定員…120名
- ▽締切…定員になり次第締切いたします

中部日本支部

新年会

杉山代表を囲み、美味しいお食事とおしゃべりで新年をお祝いしましょう！

- ▽日時…2月21日(火) 11時30分～
- ▽会場…キャッスルプラザ名古屋
- ▽参加費…4000円
- ▽締切…2月10日(金)
- ※お申込みの方に詳細をお送りします



- ▽日時…1月19日(木) 13時～15時
- ▽日時…2月17日(金) 13時～15時
- ▽会場…北の丸ガラスゲート5階
- ▽担当…長谷川範子弁護士
- ▽締切…一週間前までに申込みください

西日本支部

新年会

ゆつくりと新年の計を語り合います

弁護士の小見山先生もご出席予定です

▽日時…2月23日(木) 12時～14時

▽会場…フレンチ&チャイニーズレストラン

「モンスレー」

(大阪新阪急ホテル・地下1階)

▽参加費…4000円(当日受付にて)

▽締切…2月15日(水)

九州本支部

新年会

懐石花御膳、博多のおせちに舌鼓。

おいしく新年を祝いましょう!

▽日時…2月17日(金) 12時～14時

▽会場…日本料理しゃぶ禅昭和通り大名店

▽参加費…3000円

(季節の懐石料理花御膳とワンドリンク代)

▽締切…2月15日(水)

大分支部

新年会

季節を感じる屋上庭園のあるレストランで

新しい年の始まりをお祝いしましょう

▽日時…2月16日(木) 11時30分～14時

▽会場…ホテルブラスサム大分8階

レストラン「庭の食卓・四季」

▽参加費…3000円

▽締切…2月14日(火)

～ 総 合 案 内 ～

お花見 3月30日(木)

本年は、ホテル椿山荘東京
(東京都文京区)での開催。
詳細は次号でお知らせします

懇親会会場：ホテル椿山荘東京
プラザ4階 ジュピター
時間：12時～14時
定員：150名(予定)



しいたけの駒打ちと しいたけ狩り 2月11日(土・祝)

昨年駒打ちしたしいたけが採れるかも…です。
汚れてもよい服装でご参加ください

集合：8時50分 北の丸ガラスゲート1階
9時 バスで出発
会場：吉四六村(千葉県富津市)
指導：谷本丈夫先生
(牧野植物同好会会長、宇都宮大学名誉教授)
参加費：5000円(交通費・昼食代含む)



りす友



おたより

紹介コーナー



皆さんの暮らしの中でのささいなことから写真とそのコメント、りすシステムを利用した感想など、お便りをお待ちしています。

※お知らせ
一冊は無料で差し上げておりますので、
ご安心ください。
感想文を募集していますのでぜひ一言
お送りください。

匿名希望のご夫妻(東京都)より

いつの間にか10月も半ば過ぎました。
先日は夫と2人のバースデーのお祝いの御言葉、有難うございました。
そして、その前に『私の遺言』の立派な御本をお送り戴きまして、びっくりいたしました。
私共も共に87歳。戦争経験者です。いろいろありましたが、遺書として投稿まで出来ませんでした。少しづつ読ませて戴いております。このまま頂戴してよいのでしょうか。頒布価格お送りするのでしようか。迷っております。
今のところ、2人共々何とか過ごしております。
りすの発展を祈って
御礼まで

支部

活動記

北海道・北日本支部

▼仙台市郊外の古くから愛された温泉街に数年間お住まいになっていたSさん(68才・男性)。

今年の夏頃から住み替えの相談を受け、雪深い場所から関東方面の温暖な気候のところと一緒に探しました。

Sさんは68才ですが、民間の賃貸住宅は身元保証人の審査が厳しいことや一人暮らしで何かあった時のことを懸念されるオーナーさんが多いのが現状です。

今回も連帯保証人が、法人では前例がないと、りすシステムを保証人とする手続きが難航しました。民間のオーナーさんや不動産管理会社と協議を重ね、粘り強く交渉をしながら希望の戸建平屋を探するのに時間がかかり、Sさんには色々ご心配をかけましたが、希望に近い条件が見つかり、10月末に引越しが完了しました。

Sさんはセコムにも加入し、新しい土地での生活をスタートされ

ました。

東日本支部

▼243号で紹介したMさん(84才・女性)のその後です。

Mさんは認知症が進んだことで自宅での生活が困難となり、施設の空きを待つあいだ、ショートステイを繰り返していました。

しかしショートステイは期限付きのため、次の受け入れ先が決まらない場合、一旦自宅に戻らなければなりません。自宅で夜一人で過ごすのは、Mさんの不安感もさることながら、転倒等の危険もあるだけに早く移る必要性が生まれました。

すぐに入居できる施設はないかと、りすシステムのアドバイザーが探したところ、都内の特別養護老人ホームは100人待ちと言われ、やむなく近隣の特別養護老人ホームに入っていたことにになりました。Mさんは長年住み慣れた土地での生活を希望していまし

たが、アドバイザーの説明にじつと耳を傾けたあと、「ずっと同じところにいられるんですね、それがいいです」と納得されました。

入居手続きを進めましたが入居する段になり、新しい施設を目の前にしたMさんはもとの場所か自宅へ戻りたいと、その場で頭を抱えてしまいました。「今後のことはまた話し合いますので今日は休んでください」というアドバイザーの言葉をなんとか受け入れ、その場は収まりました。

その後も帰宅したいとの訴えは続きましたが、3ヶ月経過した頃からMさんの帰宅願望は急速に薄れていきました。

秋祭りの参加を兼ねてアドバイザーがMさんをたずねると、Mさんは二人の入居者の方などとお祭りを楽しんでおられました。

「お友達ができたの」

Mさんはにつこりと微笑まれました。

Mさんのお部屋には入所したときのまま、所持品がダンボールにまとめて置かれています。施設の方に訊ねると、入居当初はいつでも自宅に帰れるようにと、Mさん自身があえて荷解きせずそのまま

にしていたそうです。しかしもうそんな心配はないのかもしれない。お友達二人とお見送りしてくださったMさんの穏やかな表情に私たちはほっとしました。

中部日本支部

▼前号から続いてHさん(91才・女性)のサポートをご紹介します。

自宅で倒れ緊急搬送されたHさんですが、その後怪我は回復に向かい、いつでも退院できる状態となりました。しかし長い入院生活で体力が低下し、車いすでの生活を余儀なくされました。

しかし頑張つてリハビリを続けただおかげで介助なしでベッドから車イスへ移動できるまでになり、退院後はご自分の希望が叶いサービス付き高齢者向け住宅へ入居することになりました。

入居直後はなれない生活で自分の思い通りにならず、ヘルパーさんの対応に不満をもったり、男性ヘルパーには介助されたくないなど、ストレスを感じることもあったようです。

時にはHさんがひとりトイレにいるのを夜のスタッフが発見したこともあったそうです。トイ

レに行く際は危ないので必ずスタッフを呼んでもらうようお願いをしているのですが、自立した生活を送りたいと願うHさんには受け入れがたかったのでしょうか。

退院前には自立歩行は困難と医師に言われたにもかかわらず、先日ケアマネさんから「自立度が上がって来たため、車いすではなく手すりや歩行器を検討したい」と報告がありました。Hさんの気概には敬服させられます。

定期的に訪問してはいますが、お会いするたびに元気になっていく姿を拝見しとても嬉しく思います。

これからも無理なくリハビリを続け、新しい生活環境に慣れていけるよう見守っていききたいと思っています。

西日本支部

▼4年前、りすシステムと基本契約は取り交わしていたものの、葬儀や個人財産の処分など死後のことがなかなか決まらず、時間が経っていたTさん（75才・女性）。今春になって体調不良が続き、な

点の公正証書契約を結ばれました。その後「医療上の判断に関する事前意思表示書」や「後見ノート」も作成されホッとした矢先、自宅の階段で転倒し、救急車で運ばれその後入院となりました。

幸い公正証書契約の締結後でしたので、入院保証や保証金の支払いなどもりすシステムが行えました。怪我の回復後はリハビリのためリハビリ専門の病院へ転院し、更に療養が必要で地域包括支援センターのケアマネや病院のソーシャルワーカーと相談し、療養型の病院へ転院しました。4ヶ月ほど療養された後、認知症の進行から、一人暮らしは無理との判断で任意後見監督人選任の申し立てをしました。

大阪家裁から監督人選任の審判がくだり、りすシステムが任意後見人となってグループホームへ入居することができました。

グループホームは少人数の施設でスタッフが細やかなお世話をしてくれるので気持ち的にも安心されたのか、りすシステムのスタッフが訪問した際にはおだやかな笑顔を見せてくれます。

Tさんの笑顔を拝見するたびに

「りすシステム」との公正証書契約の大切さを実感しています。公正証書契約に進んでいない方は、ご自身の安心のため、ぜひ手続きを進めてください。

中国支部

▼サービス付き高齢者向け住宅にお住いのNさん（71才・女性）のことで、ケアマネから「ホームドクターが相談したいことがあると言っているので、来てくれませんか？」という電話がありました。伺ったところ10月頃から食欲がなく体調不良が続き、栄養ドリンクを飲んでいたが、改善が見られな

いとのことでした。

後日、主治医と面談したところ「前向きに食べようとしないため、たんぱく質不足による栄養失調の状態です。一度、精密検査を受けた方がよいでしょう。病院を紹介するので検査入院してください。むくみも気になります。腎臓、肝臓、胃にも異常がないか診てもらいましょう」ということになり、紹介状を書いてもらいました。

現代の豊かな日本で栄養失調と聞いて驚きましたが、主治医の話によるとたんぱく質不足は偏食が

原因だそうです。「たんぱく質不足はサプリメントでは補えずたんぱく源は口から毎日食べて、長期にわたって食べることで身につけてきます」とのこと。好きなものはたくさん食べるが、嫌いなものは食べないというNさんの食習慣によるものでした。

ケアマネから「顔や手足はむくみのせいで痩せているように見えませんが、今日はお風呂の日なので、どのくらい痩せているのかみてもらいたい」ということで、お風呂に入る様子を見せてもらいました。身体全体に骨ばって痩せていました。月に一度、訪問していたのですが、顔や手足は肉付きがよく痩せていると感じませんでしたので、正直、驚きました。

そこで、検査入院をするまでの間、温泉卵や肉類を極力食べてさせてくれるようケアマネに頼みました。ヘルパーには、好きな食べ物の中にたんぱく源を混ぜ合わせる等の工夫をしてもらえるようお願いしました。また、食べるのを諦めた場合は、回数を多く口に運んでもらえるように頼みまし

た。偏食により身体に必要な栄養素

を摂取しないことで病気に罹りやすくないです。これからの季節、インフルエンザなどにかからないためにも、毎日バランスの取れた食生活を心がけましょう。

九州支部

▼238号で紹介したHさん(90才・女性)のその後です。

退院後、自宅での一人暮らしが懸念されていたHさんですが、本人のお気持ちを優先し、自宅での生活をはじめました。ケアプランを見直し、布団を介護ベッドに変え、寝室・リビング・台所・洗面所・風呂場に手すりを設置し転倒リスクの低減化を図りました。

しかし数か月後、ベッドの脇で転倒、肋骨を骨折して再入院。今後は一人で暮らすのは難しいのではないかと…。

Hさんとりすシステム、主治医、相談員、ケアマネを交えて再度じっくりと話し合いました。

「自宅以外での生活は考えられない、老人ホームなんて絶対いやです！」

当時Hさんは頑なに老人ホームを拒んでいました。

そこで入居先の老人ホームのこ

とをHさんにしっかりと伝えし、自宅と同様の生活ができることを理解し納得していただくことができました。

そして老人ホームに入居して一年経った現在、Hさんは毎日を楽しく過ごしておられます。

三度の食事は完食、大好きな果物をリクエストし、新聞にも毎日欠かさず目を通します。ホームスタッフからはカワイイおばあちゃんと思われているようです。

心配されていた貴重品の一部はりすシステムでお預かりし、ご自宅は民生委員さんが毎日見回りをして下さっています。

今後も、Hさんのお気持ちを第一に、老人ホームやケアマネとの連携を密にしていきます。

大分支部

▼Oさん(90才・女性)がお住まいの施設(サービス付き高齢者住宅)は大分市の中心部にあり、大分支部にも近く、元気に外出できる方には魅力的な立地です。

Oさんが入居されたのは2年前。それまでお世話になっていたケアマネやデイケア施設、生活支援サービスを利用しながら、施設

スタッフの支援も得て楽しく過ごされていました。

そんなOさんでしたが、最近になつて不穏な言動がでるようになり、人間関係がギクシャクしてきたようでした。本人自身からも「ストレスがたまり、精神的にまいっている」とご相談を受けました。

そこで施設側と話し合いを予定していたところ、本人から電話で「今までお世話になっていたケアマネさんやデイケア施設、生活支援サービスの支援を断って、別の小規模多機能型居宅介護施設に登録する予定です。いやな思いをしたけれど解放されほつとしてい」と報告がありました。

小規模多機能型居宅介護とは、住み慣れた地域で今までの生活を守りながら通い(デイサービス)を中心に、宿泊(ショートステイ)・訪問(訪問介護)の3つを臨機応変に選べるサービスです。

Oさんの決断力と行動力に驚きましたが、ご自身の希望をできるだけ尊重し、少しでも穏やかな生活を取り戻して頂けることを祈っています。

2017年版「私の遺言」 原稿募集要項

1. 原稿締切日：2017年5月末日
2. 文字数：1,000文字を目安、タイトルも忘れずにおつけください。
3. 原稿に記載いただく項目：
ご住所・お名前・性別・年齢・お電話番号
匿名希望の方はその旨を明記願います。
4. 出版時期：2017年7月頃
(8月8日に出版記念パーティーを予定)

5. 原稿送付先
〒102-0073 東京都千代田区九段北1-4-5-5F
NPO りすシステム内 ARCO 通信編集部 宛
FAX：03-3511-3278 TEL：03-3511-3277
メール：z-pro@liss-system.com





左胸のロゴマークが
とってもカワイイ
地球に恩返しTシャツ

地球に恩返しTシャツ

カラフルでかわいいロゴ付きの「地球に恩返しTシャツ」
お買い上げ金額の一部を、りすシステムから地球に恩返し基金へ
寄附いたします。ご協力、よろしくお願いいたします。

定 価：2000円（送料込み） サイズ：S・M・L

カラー：ホワイト・ピンク・イエロー・ライトグリーン・ライトブルー

*通信販売も承ります。ご希望の方は、
りすシステム 0120-889-443 までご連絡ください。

地球に恩返し運動について

私たちの生命を育んでくれている地球!! このやさしい地球に
少しでも恩返しをして、次世代に美しい地球を残しませんか。
皆さまのご寄附で「地球に恩返しの森」に植樹ができ、銘板に
あなたのお名前が刻まれます。

※匿名希望の方は、振込用紙の「通信欄」に「匿名希望」と、ペンネーム希望の
方は「ペンネーム」を明記の上、「ご依頼人欄」には必ずお名前をご記入ください。

NPO りすシステム
NPO 地球に恩返しの森づくり推進機構

地球に恩返し運動本部

連絡先：TEL.03-5215-2383

地球に恩返し 基金振込先

● 郵便局から振り込む場合

郵便局口座番号：00140-7-743432
加入者：地球に恩返し基金

● 他行からゆうちょ銀行に振込む場合

店名：〇一九（ゼロイチキュウ）
種目：当座 口座番号：0743432
加入者：地球に恩返し基金



「地球に恩返し」基金に寄附をいただき、ありがとうございました。

厚川 佳子さん（埼玉県さいたま市）	重田 末寿さん（東京都小平市）	長澤 延子さん（栃木県栃木市）
いけだ みみこさん（京都府京都市）	関口 雄子さん（東京都西多摩郡）	村上 陽子さん（岡山県岡山市）
加藤 奈津子さん（東京都豊島区）	関本 たみ子さん（宮崎県宮崎市）	矢島 薫さん（東京都豊島区）
岸塚 淑子さん（東京都板橋区）	高桑 恵子さん（東京都足立区）	柳川 雅子さん（東京都文京区）
逆瀬川 スミ子さん（東京都豊島区）	中野 位子さん（千葉県鎌ヶ谷市）	柳川 由美子さん（静岡県焼津市）
佐竹 靖幸さん（神奈川県横浜市）	中原 静子さん（埼玉県南埼玉郡）	吉田 誠さん（東京都東村山市）

匿名4名 50音順

※ 2016年11月1日～2016年12月20日現在、22名の方からご寄附をいただきました。
※ 関口雄子さん、関本たみ子さん、匿名2名が1000ポイントを達成されました。



●なんでも談話室●

◎なんでも談話室は、開催時間中ならいつでも自由に参加できます。

北海道支部	※1月のなんでも談話室はお休みです 日時：2月6日（月）11時～15時	会場：北海道支部事務所
北日本支部	日時：1月30日（月）11時～15時 日時：2月28日（火）11時～15時	会場：北日本支部事務所 会場：北日本支部事務所
東日本支部	日時：1月17日（火）11時～15時 日時：2月21日（火）11時～15時	会場：北の丸ガラスゲート1階 会場：北の丸ガラスゲート1階
中部日本支部	日時：1月10日（火）13時～15時 日時：2月10日（金）13時～15時	会場：中部日本支部事務所1211号室 会場：中部日本支部事務所1211号室
中国支部	日時：1月21日（土）13時～15時 日時：2月18日（土）13時～15時	会場：中国支部事務所 会場：中国支部事務所
四国支部	日時：1月25日（水）13時～15時 日時：2月25日（土）13時～15時	会場：四国支部事務所 会場：四国支部事務所
九州支部	日時：1月29日（日）13時～15時 日時：2月28日（火）13時～15時	会場：九州支部事務所 会場：九州支部事務所
大分支部	日時：1月24日（火）13時～15時 日時：2月22日（水）13時～15時	会場：九州支部事務所 会場：大分支部事務所

●談話サロン●

西日本支部	日時：1月23日（月）※詳しくは10ページのお知らせをご参照ください 2月23日は新年会です
-------	--

●生前契約説明会・ステップアップ相談会●

支部	電話番号	生前契約説明会		ステップアップ相談会	
北海道支部	011-756-4165	5日（1月休み）	13：30～15：00	随時開催	
北日本支部	022-797-2072	2日（1月休み）	13：30～15：00	随時開催	
東日本支部	0120-889-443 03-3511-3277	10日	11：00～13：00 14：30～16：30	15日	11：00～12：30 14：30～16：00
		24日（3・9月休み）	13：00～15：00		
中部日本支部	052-569-2254	25日	13：00～15：00	随時開催	
西日本支部	06-6809-2289	7日	10：30～12：00 14：00～15：30	26日	10：30～12：00 14：00～15：30
中国支部	082-568-1585	28日	10：30～12：00	随時開催	
四国支部	089-933-5670	25日	10：00～12：00	随時開催	
九州支部	092-738-2718	24日	13：30～15：00	随時開催	
大分支部	097-538-6263	27日	13：30～15：00	随時開催	

例会・見学会・談話サロン・法律相談のお申込みは…

☎ 0120-889-443

生活支援テレホン

☎ 0120-332-206

24時間365日いつでも りすセンター 新木場

☎ 0120-373-959

(海外からご利用の場合)

+81-3-3522-5660

発行：りす倶楽部事務局 〒102-0073 東京都千代田区九段北1-4-5-5F TEL：03-3511-3277 / FAX：03-3511-3278

編集人：杉山 歩

E-mail liss-system@seizenkeiyaku.org

URL http://www.seizenkeiyaku.org